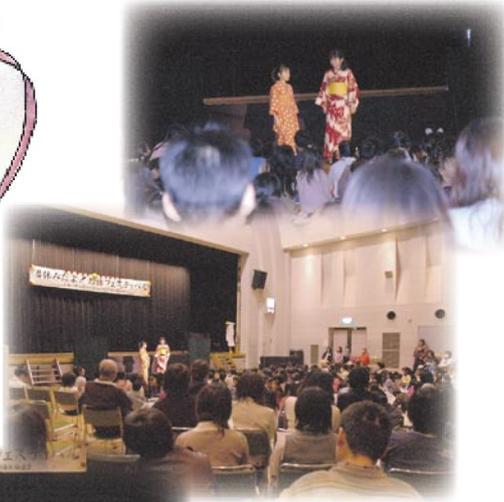


ユーカリが丘地区  
 社会福祉協議会  
 発行人 坪松康隆  
 編集 広報事業部  
 〒285-0843  
 千葉県佐倉市中志津2-32-4  
 西部地域福祉センター内

# 福祉 ユーカリが丘



## 「春休みだよ お話フェスティバル2006」

日時 平成18年3月26日(日) 10時～12時  
 会場 志津コミュニティセンター 大ホール  
 参加費 無料

この地区にある青菅小、井野小、小竹小、志津小のPTAの方々による大型紙芝居・人形劇、影絵塾9の皆様による佐倉の民話、そして『佐倉お話し』の会』の木原南海子さんによる語りと多彩な演目を行います。入場無料です。是非お越し下さい。

児童福祉事業部

## ヘルスプロモーション 国際シンポジウムinさくら「事例報告」

順天堂大学ヘルスプロモーション・リサーチ・センターユーカリが丘支局が今年5月に開設されましたが、同センター主催の国際シンポジウムが10月22日(土)23日(日)の2日間に渡りウイシュトンホテルにおいて、約800名の参加者の下に開催されました。千葉県知事の挨拶やエール大学教授キック博士の基調講演、渡貫佐倉市長出席によるシンポジウムなど、活発な意見交換が行われました。



健康づくりに対する行政の取り組み事例として、青森、千葉、神奈川、宮崎など各自治体からの報告がありました。また、社会福祉協議会の活動事例として、ユーカリが丘地区社協の坪松会長が、福祉活動を取り組むにあたって、自治会、商店会、企業、学校その他各種団体など、街ぐるみの取り組みに努力しているとし、基本方針、組織の概要、事業内容などについて報告しました。



急速に進む高齢化の中で、住民参加による福祉の重要性は多くの皆様の賛同をいただき、さらにボランティア活動や先駆的福祉事業などについて質疑が行われ、地区社協への認識が一層高められたものと思われまます。

# 敬老の集い(第1ブロック)

於：小竹小学校 体育館

平成17年10月1日(土) 出席者119名



秋桜の花が秋風にゆれる爽やかな晴天の10月1日(土)に、第1ブロックの『敬老の集い』は小竹小学校の体育館にて開催されました。開場前から元気な姿をみせてくださる招待者もおられ、式典前には多勢の招待者の方々が出席していただきました。

昨年と同様に子供達との触れ合い、参加型の集いの方向で進め、式典では、出席された米寿及び卒寿並びに高齢者の方々の元気な姿を紹介しお祝いしました。

余興の部において、恒例の「学校タイム」は3年4年の児童と金管部の児童による歌や演奏を楽しみ、子供達も工夫を凝らした催して招待者を楽しませてくれました。授業参観の場でもあり、多勢の児童の親達が見守る中での交流の場となりました。

次に、松原章さんが仕舞『舟弁慶』を迫力ある演技で舞ってくださいました。

宴が盛り上がりつつある中、食事をしながら歓談を楽しんだ後、矢島秀子さんの指導と進行で、ゲームをしながら賞品を獲得して楽しいひとときを楽しんでいただきました。招待者の皆様をお見送りして、今年度の『敬老の集い』は盛況のうち無事終了しました。小竹小学校の積極的な協力とPTAの皆様、地域の自治会役員の皆様と多くのボランティア、福祉委員の方々の協力で招待者の皆さんに楽しんでいただく事ができました。ありがとうございます。

# 敬老の集い(第2ブロック)

於：小竹小学校 体育館

平成17年10月2日(日) 出席者72名



10月3日(日)第2ブロックの敬老の集いが小竹小学校の体育館で開催された。例年の志津コミュニティセンターと違ってなれない設備で戸惑いもあったが、前日の第1ブロック終了後のリハーサルで何とか目途がつき本番を迎えることができました。

当日は天候にも恵まれ10月としては暑いくらいの良い天気となった。式典の後、恒例の余興タイムではちびっ子のエアロビクスや手作りの楽器や太鼓を使った音楽と体操・踊りなどを取り入れ、高齢者をはじめ、来賓の方々や福祉委員まで大いに盛り上がりました。

また、これまた恒例の抽選会では、コンピュータを使ったビンゴゲームを行った。当初高齢者の方がビンゴゲームがわかるかどうか、できるかどうかなどいろいろ心配したが、無事成功しました。

最後は万年青年(?)が歌う『青い山脈』に見送られながら会場を後にしました。

# 敬老の集い(第3ブロック)

於：青菅小学校 体育館

平成17年10月1日(土) 出席者96名



今年の敬老の集いも天候に恵まれ、100名近くのご招待者のご参加をいただきました。

来賓の方々の挨拶の後、青菅小学校児童によるお祝いの演目が始まり、子ども達の可愛らしい演技に目を細められていました。敬老者の席の中心まで入ったダンスには手拍子を打ち、子ども達からの手作りの団扇のプレゼントを同じテーブルの方々に見せ合っていました。また、今回初めて児童の保護者の方の席も用意し、お子様の一生懸命な演技をご家族の方たちも楽しめるようにしました。

余興の部では施設などで音楽療法を指導されている内野すみ江さんによる音楽での楽しいひと時でした。手に手にタンバリンや鈴や手作りのマラカスを持ち、「赤とんぼ」や「里の秋」等の音楽に合わせて手を上げたり下げたりしながらリズムを刻んで、まるで子どもの時に帰ったようでした。

コーラスの後は恒例のお楽しみ抽選会と続き、楽しいひと時もあっという間に過ぎてしまいました。

# 敬老の集い(第4ブロック)

於：志津小学校 体育館  
平成17年10月2日(土) 出席者156名



今年度の敬老の集い対象者はユーカリが丘地区社協全体で277名。第4ブロックは463名で一番招待者数が多い地区です。

集い当日は朝から雨が降り、出足を心配する声も聞かれましたが大勢の方が出席されていました。

「アマービレ」によるたて笛演奏から始まった式典の部では、主催者挨拶のあと米寿と卒寿の方が紹介されました。

余興の部は、光の子保育園園児による元気いっぱいの太鼓演奏。「手話ダンス虹」と「佐倉中央マジック」による手話ダンスとマジックが披露。お楽しみタイムではタオルを使った簡単な体操と出席者全員で炭坑節を踊りました。

志津小の子ども達も全体育館に集い、低・中・高学年に分かれて発表をしました。低学年は可愛い歌。中学年は黄色と赤の紙で出来たはっぴを着てのロックソーラン。高学年はリズム体操とリコーダー演奏を披露しました。そして、テーブルとテーブルの間に子ども達が入って、司会者の合図でジャンケンをし、負けた人は勝った人の肩を叩いてあげるジャンケンゲームで和気あいあいとした雰囲気の中、敬老の集いは無事に閉会しました。

# 北志津児童センター支援

児童福祉事業部が中心となって、北志津児童センターの行事に協力しています。北志津児童センターの主な行事として、田植え・稲刈り・いも掘り・もちつき・成木餅・レック&トライ等があります。

## 稲刈り

秋晴れの下  
稲刈りを体験

9月10日(土) 北志津児童センターの支援事業として「稲刈り」に参加しました。



当日は秋晴れの青空の下、子供たちとご両親、先生方、ボランティアの方など百名余りが参加。先崎の友野文夫さんの指導で稲刈りを体験しました。まだ少しぬかるんだ田んぼの中に足を踏み入れ、一束一束丁寧に刈り取り、それをコンバインで脱穀します。小一時間ほどで稲刈りは終了。コンバインからはあっという間に玄米になった米が出てきてみんなびっくり。有意義な初秋の一日を楽しみました



# 芋掘り

泥んこになりながら芋掘りに奮闘

10月8日(土) 志津・北志津児童センターの支援事業として「芋掘り」が行われ、ユーカリ及び志津地区社協もお手伝いとして参加しました。朝のうちの雨も上がり、やや湿気を含んだ先崎の畑の一角に春に植えた芋の苗が大きく育っていました。車で来た人や中学校から歩いてきた人など子供たちとご両親は何かピクニック気分が集まって来ました。

期待に胸膨らませていも掘り開始。素手で芋を掘るのは大変ですが、中から紫色の大きなお芋が出てくるとあちこちから歓声が上がりました。重量コンテストも開催。われこそはという子供たちが大きなお芋を持って計量にやってきました。なかにはドッチボールくらいの大きさの物もあり、持つのにも大変なものばかり。

芋掘りの後は、応援に駆けつけてくれた「おやじの食事学同好会」の皆さんが作ってくれた豚汁やお餅などに舌鼓を打ちました。



# ワンパクまつり

第16回ワンパクまつり(主催・北志津児童センター)が、11月5日(土)に志津コミュニティセンターで開催されました。

当日は、秋晴れの下、主役の子供たちが田植えから稲刈りまで、自ら行った米を販売したり、パクダン(米菓子)の爆音や起震車による地震体験に喚声を上げ、また、竹馬やペーゴマなどに一喜一憂しながら、秋の一日を楽しみました。

中庭の休憩コーナーでは、数年後の主役となる赤ちゃん連れの親子も多数来場され、和気藹々と過ごしていました。

ユーカリが丘地区社協は、杵と臼による餅つきで参加・支援を行いました。初めて杵を持つ子供たちは、一生懸命に力を込めて餅をついていました。蒸かしたてのもの米やつきたての餅を、福祉委員から試食としてプレゼントされた子供たちは「おいしい、おいしい」といって、喜んでいました。

お手伝いいただいて福祉委員の皆さん、お疲れ様でした。



# 平成17年度第2回福祉委員セミナー

去る11月13日(日)第2回の福祉委員セミナーが開催されました。今回は船橋市高根台地区社協の山下栄子会長をお招きして、高齢化が急速に進んでいる同地区の現状をお伺いし、今後ユーカリが丘地区でも同様の状況が起こるであろうことについて考えました。

高根台は昭和30年代から公団住宅が建設され、ほとんど同時に入居された関係で年齢構成が近い家族が多く一挙に少子高齢化の波が押し寄せられているように街中は年配の方の姿が多く見られるそうです。また公団住宅の建替の時期に入っており、現在2棟が終了し、次も進行中とのこと。ただ建替後の賃料アップにより引き続き居住する家庭が少なくなっており、一方で若い世代が入居を難しくしており、少子高齢化に拍車をかけるような状況で、地域の小学校では児童が極端に少ないところも出てきて危機感を感じているそうです。



活動の内容は、ユーカリ社協と似ているところが多いですが、月2回のミニデイサービスマルーム「さえずり」やたすけあいの会と共催でこの春から行っているいれわたのコーヒーが自慢のティールーム「きんもくせい」、宅配給食「すいととポテト」、太極拳、将棋ボランティア、公民館と共催で行っている子育て講座やボランティア講座など。また、特徴的なのは、「たすけあいの会」という団体の活動で、家事一般の手助けや引越しの手伝い・清掃時には「葬儀の手伝いまで行っているように、この地域ならではの活動だと感じました。活動の中で問題は、いろんな活動をする側、される側ともに高齢化が進行していること。若い人たちに積極的に参加してもらえよう努力して行きたいとのこと。山下会長はこの講演でユーモアたっぷりにお話いただきましたが、年齢をお伺いしてびっくりしたぐらい若々しく発言・活動されており、大変感動いたしました。貴重な講演本当ありがとうございます。今後も高根台地区社協の益々のご発展をお祈り申し上げます。

# 第14回ふれあい福祉まつり開催



11月23日、勤労観感謝の日に『第14回ふれあい福祉まつり』が志津コミュニティセンターで、ユーカリが丘と志津の2地区社会福祉協議会共催で開催されました。

当日は晴天に恵まれ多くの来場者がありました。

特に、大ホール内でのバザーには、開場(10時半)の前からすでに長蛇の列が出来て、皆がビックリ！ オープンと同時に会場内は満員御礼の大盛況となりました。

会場入り口では、おなじみの模擬店が出店。もちつきや焼き鳥、飲み物・

豚汁・焼きそばなども販売されました。また今年には抹茶の野点のお手前などもありたくさんの人で賑わっていました。佐倉勇翔太鼓の若手の皆さんの演奏も賑やかさに花を添えていました。

まつりの収益金は、地区社会福祉協議会の福祉活動資金になり、いきいきサロンや1000円喫茶等にも使われます。さらに地域の皆様の要望にこたえる活動をしていくうえで活用されます。まつりのもうひとつの目的である、交流や情報交換の場づくり等も大切にしていきたいと思っておりますので、ご支援、ご協力よろしくお願いたします。



## 傾聴ボランティアグループ活動開始

「ひびき」は平成17年7月に結成された新しいボランティアグループです。

人間関係が希薄になった現代社会では、「心」の問題は重要な課題です。とくに高齢社会から超高齢社会に移行しつつある今日、孤独で心わびしく感じている高齢者や障害者が増えています。もしそうした心の弱った方に声をかけ、お話し相手になる人がいれば、その人にとっても、家族にとってもどれだけ心の支えになるかわかりません。

私たちは、そのような心の弱った高齢者や障害者の方と、単に「傾聴」という言葉では言い表せない「心のふれあいや響きあい」を求めて、お話し相手をさせていただいております。

現在、会員は25名で、老人介護施設の「ユーカリ優都苑」「志津ユーカリ苑」「エクセレントケア志津」「ゆたか苑」「額田病院」(稲毛)で活動しております。皆さんも一緒にいかがですか。

(問合せ先:吉田Tel/Fax 043-462-1052)

### 寄付金の御礼

11月13日に『いちご会』より1万円のご寄付をいただきました。ありがとうございました。

## 編集後記

「この25号はデザインに女性の意見を取り入れたものになりました。イラストが入ったり、色使いも華やかな感じを出すことが出来ました。今までも広報事業部が中心となって編集してきましたが、これからも見やすい分かりやすい広報誌を目指してがんばりますのでよろしく願い致します。」

問合せ先

ユーカリが丘地区社会福祉協議会  
事務局 (西部地域福祉センター内)

電話 463-4167

FAX 463-4169

\*毎週 火・木・金  
(午後1時～5時まで)

志津4地区社会福祉協議会合同

## 「ボランティア講座」開催

～楽しく参加するボランティア～

日時 平成18年2月19日(土) 10時～12時

会場 西部地域福祉センター

豊かな社会の中にもまだまだバランスの崩れた空間がある中、自分で、自分達のために自分達の手でその空間をうめる為の生活、生き方を考えてみませんか。日頃ボランティア活動をしている方による生きがいや生活の充実の体験話と懇談会を開催いたします。

ボランティア事業部